

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-88	小学校	社会	社会	4
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 405	新編 新しい社会 4		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示される教育の目標の達成と、学習指導要領の社会科の教科目標にある「公民としての資質・能力」の基礎を育成することを目指し、以下の3点を柱として編修しました。

特色 ①

**資質・能力を
確かに育てる
教科書**

- ・学習指導要領の社会科の教科目標にある「公民としての資質・能力」を確かに育てます。
- ・「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。
- ・「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

特色 ②

**子供の
学びを広げる
教科書**

- ・多様な QR コンテンツを収載し、子供の学びを広げます。
- ・学習に効果的な写真や挿絵などの資料を豊富に掲載しています。
- ・実社会に生きる人々の姿を随所に掲載しています。

特色 ③

**授業づくりを
サポートする
教科書**

- ・教科書の構造や問題解決的な学習の流れをわかりやすく示し、授業づくりをサポートします。
- ・重要な用語や資料を明確に示し、学習の基礎・基本が定着します。
- ・学習内容だけでなく学習方法についても丁寧に示しています。

特色 ①

**資質・能力を確かに育てる
教科書**

① 「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。

学習指導要領の教科目標には、「課題を追究したり解決したりする活動」と明記されており、問題解決的な学習が重視されています。

単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を教科書紙面に構造的に示しています。1 単位時間の内容を 1 見開きで示すことを基本とし、見開き左ページ側注欄には、本時の「めあて」とその時間の学習段階をわかりやすく明示しました。

↓ 小単元の本時の「めあて」と学習段階の例

つかむ

わたしたちは、
毎日どのくらいの水を
使っているのでしょうか。

p.34

調べる

じょう水場では、
どのようなことを
しているのでしょうか。

p.38

まとめる

水はどのようにつくられ、
送られてくるのか話し合い、
黒板に整理しましょう。

p.46

いかす

かぎりある水を
使い続けるために、
自分たちにできることを
考えてみましょう。

p.48

②「見方・考え方」を働かせた学習ができます。

学習指導要領の教科目標には、「社会的な見方・考え方を働かせる」ことが明記されています。

見開きの適所に、ドラえもんが目印の「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法（考え方）で挿絵を変えて、どのような視点や方法かわかるようにしており、「見方・考え方」を働かせて学習ができるようにしています。



どこにどのような地形が見られるかな。

空間 ↑ p.20



水の入手方法は、どのように変わってきたのかな。

時間 ↑ p.42



リサイクルの取り組みには、どのように協力があるのかな。

相互関係 ↑ p.63



自分たちのまちとにているところや、ちがうところはどこかな。

方法（考え方） ↑ p.164

③「まなびのポイント」で「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を示しています。

学習段階に応じた学習活動を例示し、「主体的・対話的で深い学び」につながります。

各見開きに、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を「まなびのポイント」として例示しました。「つかむ」段階には「主体的」な学習活動、「調べる」段階には「対話的」な学習活動、「まとめる」段階には「（深く）考える」学習活動を中心にそれぞれ例示することで、小単元を通して「主体的・対話的で深い学び」につながるようになっています。

まなびのポイント

- ごみのゆくえについて
ぎもんに思うことを
話し合おう。
- 学習問題について予想し、
学習計画を立て、学習の
見通しをもとう。

↑ p.56

まなびのポイント

- ごみしよりの流れを図に
まとめ、説明しよう。
- 学習をふり返り、考えた
ことを文章に表そう。

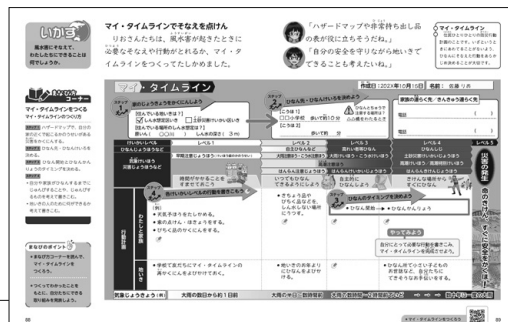
↑ p.66

④ 社会的な事柄に参画・提案する場面（学習段階「いかす」）を設けています。

学習指導要領の「内容の取扱い」に、「選択・判断」と示されている箇所を中心に、学習段階「いかす」を設けています。

学習指導要領では、「住みよいくらしをつくる」「自然災害からくらしを守る」「残したいもの 伝えたいもの」の学習について、「自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること」とされています。これらの箇所を中心に、第4学年全体で学習段階「いかす」を5箇所設け、学習したことをもとに、社会的な事柄に参画・提案する場面を設定しました。

p.88-89 マイ・タイムラインでそなえを点けん



特色 ②

子供の学びを広げる教科書

① 多様なQRコンテンツで子供の学びを広げます。

学習場面に応じて、個別でも協働でも活用できる多様なQRコンテンツを収載しています。



↑ p.130-131

拡大



- 学習のはじめに見てみよう
- 特色ある地いき



導入動画 p.131 「学習のはじめに見てみよう
(特色ある地いきと人々のくらし)」

まなび方の解説動画
p.9 「きよりはをはかってみよう」



第4学年でQRコンテンツを50点以上収載し、該当ページに二次元コードを配置しました。教科書の該当箇所から二次元コードを読み取ることで、導入の動画やワークシート、まなび方の解説動画、クイズなどの多様なQRコンテンツにアクセスでき、子供の学びを広げます。

② 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しています。

様々な仕事や社会的活動にかかわる人々を取り上げています。

様々な仕事や活動に携わっている人々の姿を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。第4学年では、38人を掲載しています。

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

③ 「まとめる」場面では多様な表現活動を提示しています。

調べたことをもとに考え、表現する力を育てます。

思考力や表現力を高めることができるように、「まとめる」場面では多様な表現活動を提示しました。

p.31 しょうかいパンフレットをつくる (左)

p.139 4コマCMをつくる (右)

じょう水場の橋本さんの話

末じょう水場は、1930 (昭和5) 年につくられ、金沢市民にきれいな水を運ってきました。急遽ろかとかん運ろかの二つの方法で、1日に10万5千m³の水をきれいにすることができます。毎日24時間休まず、コンピューターを管理し、安全できれいな水をつくっています。

p.38

留学生交流委員のちさんの話

SenTIAでは、外国人住民の生活のサポートだけではなく、外国の文化を日本人に伝える活動もしています。市内の小・中学校に行き、わたしの母国の、ベトナムの食べ物や観光地、生活の様子を伝えたり、おたがいの国の立場や、おたがいの国の見方や考え方を教え合ったりしています。また、日本人と外国人が協力して取り組んでいかなければならない世界の課題について、いっしょに考える学習も行っています。特に、世界はちがう人たちがいて成り立っていることを知ることが、とても大切だと思っています。

p.145



特色 ③

授業づくりをサポートする教科書

① 教師の授業づくりを様々なツールでサポートします。

授業づくりをサポートする紙面や要素を充実させています。

教科書紙面の基本的な構造を示した p.2-3 「この教科書のつくりを見てみよう」や、問題解決的な学習の流れを示した p.18-19 「学習の進め方」は、日々の授業づくりにも役立ちます。



p.2-3 この教科書のつくりを見てみよう



p.18-19 学習の進め方

まなび方コーナー

しゅくしやくを使って地図を読み取る
県庁所在地とまちのきりを調べる

地図には、実際のきりをどれだけちがめたのかを表す「しゅくしやく」がめがされています。地図に表したいはんいによってしゅくしやくが変わります。

- ④の地図を見て、1cmが何kmをしめしているかかくにんする。
- 自分が住むまちから、県庁所在地 (仙台市) までのきりをはかってみよう。

学習の技能や方法を示した「まなび方コーナー」は、学習の技能を習得したり、思考力や表現力を伸ばしたりすることにつながります。

p.25 しゅくしやくを使って地図を読み取る

見開きのキーワードとして示し、学習のまとめで活用できる「ことば」は、基礎・基本の定着につながります。

ことば

リサイクル 分別して出されたごみは、つくり直したり、原料にもどしたりして、ふたたび使えるようにすることもできます。ごみをへらすことになるだけでなく、大切なしげんを節約することにもつながります。

p.62

ことば

文化ざい 地いきには、人々が大切に伝えてきた文化ざいが残されています。その中には、国、県、市などがしっかりとほぞんしていくことを決めたものもあります。

p.99

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
3 年生で学んだこと／ 4 年生で学ぶこと	・第3学年の既習事項を振り返り、第4学年の学習内容を提示することで、第4学年の社会科学習に意欲をもって取り組んでいけるようにしました。(第1号)	p.4-5
1 わたしたちの県 1 県の広がり	・県の地形や土地利用など、県の様子を学習する中で、自然環境の保全が地域社会の発展につながることに気づけるようにしました。(第4号)	p.6-31
2 住みよい暮らしをつくる 1 水はどこから 2 ごみのしやりと利用	・「水」「ごみ」とも、小単元の最後に「いかす」学習段階の紙面を見開きで掲載し、児童自らがよりよい社会の形成について考えたり、社会に参画する態度を養ったりすることができるようにしました。(第3号)	p.48-49、 68-69
	・リサイクルや4Rなど、資源の有効利用や再利用の大切さを考え、実践する意欲や態度を育む教材を取り上げました。(第4号)	p.62-65
3 自然災害からくらしを守る 1 風水害からくらしを守る	・風水害からくらしを守るための、市や県と住民の協力や住民どうしの協力など、地域の人々が協力して社会的な活動に取り組み、よりよい社会の形成に参画している様子を具体的に取り上げました。(第3号)	p.72-89
4 きょう土の伝統・文化と先人たち 1 残したいもの 伝えたいもの 2 谷に囲まれた台地に水を引く	・自分たちの県に古くから伝わる建造物・芸能・祭りを取り上げ、地域への愛着を深めることができるようにしました。さらに「いかす」段階で、地域に古くから残るものを受けつぐために、自分たちにできることを考える場面を設定し、社会に参画しようとする態度を養うことができるようにしました。(第3号) (第5号)	p.94-107
	・先人の努力によって発展してきた地域に誇りと愛情をもち、地域のよりよい発展について考えることができるようにしました。(第3号) (第5号)	p.108-123
5 特色ある地いきと人々のくらし 1 こけしをつくるまち ・蔵王町 2 国際交流に取り組むまち ・仙台市 3 美しい景観を生かすまち ・松島町 3 古いまちなみを生かすまち ・登米市登米町	・県内の特色ある地域を取り上げる中で、様々な仕事やまちづくりなどの社会的活動にかかわる人の姿を「〇〇さんの話」として随所に取り上げ、共感的な理解をうながすようにしました。(第3号)	p.130-165
	・伝統的な技術を受けついできた地場産業を学習することで、伝統と文化を尊重し、地域への愛着を深めることができるようにしました。(第5号)	p.132-139
	・国際交流に積極的に取り組んでいる自治体を取り上げ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第5号)	p.140-147

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

01 すべての児童にとって使いやすくわかりやすい教科書

- ① 特別支援教育への配慮 すべての児童にとって使いやすくわかりやすいデザインを追求し、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など、様々な面で配慮しています。

すっきりとして見やすく、読みやすいデザイン

・本文と資料をはっきり区別できるようにレイアウトし、児童に注目させたい本時の「めあて」や「学習問題」が目立つようにしています。

色覚の多様性に配慮

・図表などは、色調の違いだけでなく、模様や形などでも判別できるように配慮しています。カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、専門家による検証を行っています。

ユニバーサルデザイン フォントの使用

・教科書の一部にユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、可読性を高めています。

- ② 人権上の配慮 ・児童キャラクター（男性3人、女性3人）やイラストに描かれる人物、「〇〇さんの話」などが、性別による偏りがないようにしました。また、大型イラストでは、人物の多様性にも配慮しました。

③ 造本の工夫（判型、書体、用紙等）

判型・造本

- ・判型は資料性、視覚的効果が高い幅広の判型を使用。
- ・児童が長期にわたって毎日使用することをふまえ、特に堅牢な針金綴じで製本。
- ・ランドセルや机、道具箱への収納にも配慮。

書体

- ・教科書本文は、書き文字に近い教科書体を使用。

用紙・印刷

- ・用紙は、軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用。
- ・鮮明な挿絵、写真等の印刷で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、資料の確実な読み取りが可能。

02 今日的な課題への取り組み

① 教育の ICT 化への対応

- ・二次元コードを教科書の該当ページに配置し、学習場面に応じた動画やワークシート、クイズなどの多様なコンテンツを用意しました。
- ・各小単元の「つかむ」段階には「学習計画ワークシート」を、「まとめる」段階には「まとめるワークシート」を QR コンテンツとして掲載し、問題解決的な学習が定着するようにしています。
- ・1人1台端末環境の実現に伴い、二次元コードからリンクする QR コンテンツとして「コンピューターを学習に生かそう」を設けています。様々な場面での活用を促すとともに、情報モラルを含めた留意点についても楽しく学ぶことができます。
- ・タブレット端末を活用した見学場面やまとめる場面など、端末を活用した場면을紙面に取り入れています。
- ・学習者用デジタル教科書では、資料の拡大や書き込みなど、様々な機能を活用した学習が可能です。

② 「カリキュラム・マネジメント」への取り組み

- ・「教科関連マーク」 (教科名) を配置し、関連する他教科の学習内容を示すようにしました。

- 例
- ・理科「水の性質」(p.47)、「天気の様子」(p.72)
 - ・算数「面積の単位」(p.121)
 - ・外国語「世界のさまざまな国と国旗」(p.142)

③ 教員支援

- ・「この教科書のつくりを見てみよう」(p.2-3)や「学習の進め方」(p.18-19)は、児童の理解だけでなく、教師の授業づくりのサポートにもつながります。
- ・教師用指導書には、「板書例」や「発問例」を載せ、「評価」に関する内容も充実しています。また、小單元ごとの「知識の構造図」を載せ、授業に活用できるようにしています。
- ・教師用指導書には、「複式年間指導計画」を掲載しています。

④ 感染症への対応

- ・二次元コードからリンクする QR コンテンツに、基本的な感染症予防についてまとめた「うつらない うつさないために」を設けています。

⑤ SDGs への対応

- ・持続可能な開発目標 (SDGs) について、映像などをもとに学ぶことができる特設サイトとして「SDGs わたしたちがつくる未来」を設けています。

⑥ 国旗の取り扱い

- ・「国際交流」の地図に自治体が交流している外国の国旗を示し、国と国が交流する際にお互いの国旗を尊重することが大切であることを記述しています。(p.142)

⑦ 道徳教育との関連

- ・社会科の教科特性に応じて道徳性を養うことができるよう、人間尊重や公共の精神、生命や自然への畏敬の念を育む教材を適所に取り上げました。(p.108-123) (p.126-127) ほか

⑧ 防災、安全教育への対応

- ・「風水害からくらしを守る」の小単元で、市や県の取り組み、市と住民の取り組み、住民どうしの協力などを取り上げ、公助・共助・自助について考えることができるようにしました。(p.74-89)

⑨ 国際理解・グローバル教育への取り組み

- ・国際姉妹都市・国際友好都市など、国際交流に積極的に取り組んでいる自治体を取り上げ、外国人住民と日本人住民との交流の様子を学ぶことで、児童の国際理解が進むようにしました。(p.140-147)

03 そのほかの取り組み

① 地図帳の活用

- ・第4学年の第1単元に見開きを使ったまなび方コーナー「地図帳を使ってみよう」を掲載しました。(p.8-9)

② 家庭学習への対応

- ・応用、発展の位置付けの「ひろげる」や二次元コードからリンクする QR コンテンツは、家庭学習でも活用することができます。

③ 自衛隊の扱い

- ・「自然災害からくらしを守る」で、自衛隊の災害派遣について写真と本文で記述しました。(p.74-75) (p.81) (p.92)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時間数)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-88	小学校	社会	社会	4
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 405	新編 新しい社会 4		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1

資質・能力を確かに育てる教科書

1 「問題解決的な学習」をわかりやすく進めていくことができます。

学習指導要領の教科目標には、「課題を追究したり解決したりする活動」と明記されており、問題解決的な学習が重視されています。

見開きごとの本時の「めあて」や「学習問題」をはっきりと見やすく示しており、教科書に沿って学習することで、問題解決的な学習を展開できるようにしています。

p.18-19「学習の進め方」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの学習段階での具体的な学習の進め方を説明しています。

➡ p.18-19 学習の進め方



つかむ

わたしたちは、毎日どのくらいの水を使っているのでしょうか。

➡ p.34

調べる

じょう水場では、どのようなことをしているのでしょうか。

➡ p.38

まとめる

水はどのようにつくられ、送られてくるのか話し合い、黒板に整理しましょう。

➡ p.46

いかす

かぎりある水を使い続けるために、自分たちができることを考えてみましょう。

➡ p.48

2 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

学習指導要領の教科目標には、「社会的な見方・考え方を働かせる」と明記されています。

教科書では、見開きの適所に、ドラえもんが目印の「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法（考え方）の合わせて四種類の囲みを使い分けています。

どこにどのような地形が見られるかな。



空間

↑ p.20

水の入手方法は、どのように変わってきたかな。



時間

↑ p.42

リサイクルの取り組みには、どのようなふうや協力があるのかな。



相互関係

↑ p.63

自分たちのまちとにているところや、ちがうところは、どのようなところかな。



方法（考え方）

↑ p.164

3 「まなびのポイント」の学習活動をもとに、「主体的・対話的で深い学び」を進めることができます。

各見開きに、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を「まなびのポイント」として例示しました。

「つかむ」段階には「主体的」な学習活動を中心に、「調べる」段階には「対話的」な学習活動を中心に、「まとめる」段階には「(深く)考える」学習活動を中心に例示することで、小単元を通して「主体的・対話的で深い学び」につながるようにしています。

まなびのポイント

- ごみのゆくえについて、ぎもんに思うことを話し合おう。
- 学習問題について予想し、学習計画を立て、学習の見通しをもとう。

↑ p.56

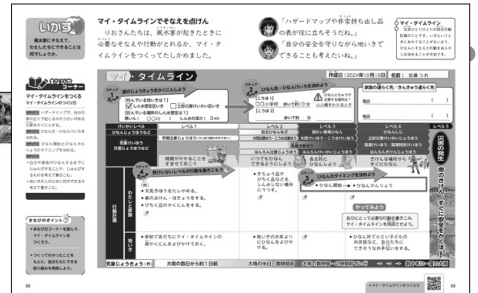
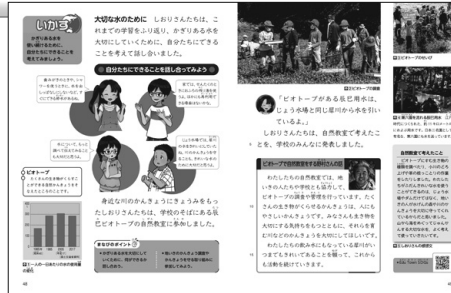
まなびのポイント

- ごみしよりの流れを図にまとめ、説明しよう。
- 学習をふり返り、考えたことを文章に表そう。

↑ p.66

4 「選択・判断」したり社会的な事柄に参画・提案したりする場面(学習段階「いかす」)を設けています。

学習指導要領では、「住みよいくらしをつくる」「自然災害からくらしを守る」「残したいもの 伝えたいもの(県内の主な文化財や年中行事)」の学習について、「自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること」とされています。これらの箇所を中心に、学習段階「いかす」を第4学年全体で5箇所設け、学習したことをふり返って、自分たちにできることなどを考える場面を設定しました。



p.88-89 マイ・タイムラインでそなえを点けん

p.48-49 大切な水のために

特色 2

子供の学びを広げる教科書

1 多様なQRコンテンツで子供の学びを広げます。

第4学年では50以上のQRコンテンツを収載し、該当ページに二次元コードを配置しました。

教科書の該当ページから二次元コードを読み取ることで、導入の動画やワークシート、まなび方の解説動画、クイズなどの多様なQRコンテンツにアクセスでき、子供の学びを広げます。



p.130-131

拡大

もくじや該当ページの二次元コードからQRコンテンツにアクセスできます。



- 学習のはじめに見てみよう
- 特色ある地いき



多様な QR コンテンツ

導入動画 p.131「学習のはじめに見てみよう(特色ある地いきと人々のくらし)」

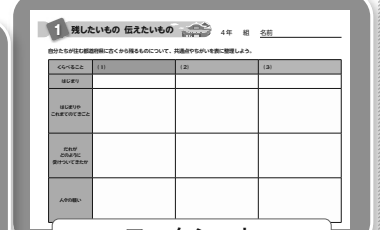
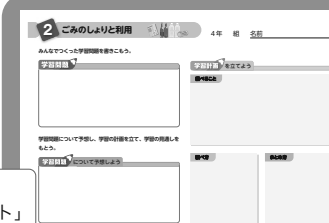


クイズ p.11「ピンゴ! 都道府県カルタ」



まなび方の解説動画 p.9「きよりをはかってみよう」

ワークシート p.57「学習計画ワークシート」



ワークシート p.105「まとめるワークシート」

2 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

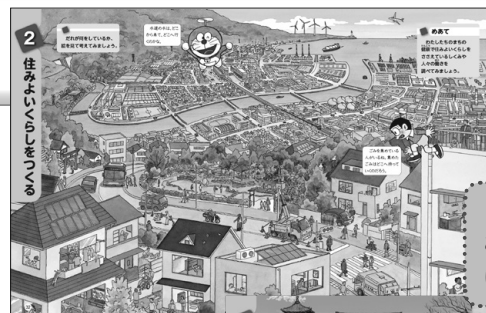


p.130

資料には、見開きごとに通し番号を付け、判別しやすくしています。

でんとう 宮城伝統こけし(蔵王町)

親しみやすい児童キャラクターがドラえもんとともに学習をナビゲートします。



p.32-33 住みよいくらしをつくる

見開きを使った迫力のある大型イラストを適所に掲載しました。



p.94-95 きょう土の伝統・文化と先人たち



3 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しています。

様々な仕事や活動に携わっている人々の姿を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。

第4学年では、38人が掲載されています。多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

じょう水場の橋本さんの話

末じょう水場は、1930(昭和5)年につくられ、金沢市民にきれいな水を送ってきました。急速ろかとかん連ろかの二つの方法で、1日に10万5千m³の水をきれいにすることができます。毎日24時間休まず、コンピューターを管理し、安全できれいな水をつくっています。

↑ p.38

留学生交流委員のちさんの話

SenTIAでは、外国人住民の生活のサポートだけではなく、外国の文化を日本人に伝える活動もしています。市内の小・中学校に行き、わたしの母国の、ベトナムの食べ物や観光地、生活の様子を伝えたり、おたがいの国の立場や、おたがいの国の見方や考え方を教え合ったりしています。また、日本人と外国人が協力して取り組んでいかなければならない世界の課題について、いっしょに考える学習も行っています。特に、世界はちがう人たちがいて成り立っていることを知ることが、とても大切だと思っています。

➡ p.145

4 「まとめる」場面では多様な表現活動を提示しています。

思考力や表現力を高めることができるように、また、地域や学校の実態に応じて学習できるように、「まとめる」場面では多様な表現活動を提示しました。

➡ p.31 しょうかいパンフレットをつくる (左)

➡ p.139 4コマCMをつくる (右)



特色 3

授業づくりをサポートする教科書

1 教科書紙面の基本的なつくりを示した「この教科書のつくりを見てみよう」と問題解決的な学習の流れがわかる「学習の進め方」

教科書紙面の基本的なつくりを一目でわかりやすく示した p.2-3「この教科書のつくりを見てみよう」や、問題解決的な学習の流れを児童にも教師にもわかりやすく示した p.18-19「学習の進め方」は、日々の授業づくりにも役立ちます。

➡ p.2-3 この教科書のつくりを見てみよう



2 基礎・基本をおさえ、学習のまとめで活用できる「ことば」

見開きのキーワードを「ことば」として提示し、学習のまとめで活用できるようにしています。また、「ことば」の欄には、見開きの学習内容をふまえた説明文を付し、振り返って学習のまとめでも活用できるようにすることで、学習の基礎・基本が定着できるようにしています。

ことば

リサイクル 分別して出されたごみは、つくり直したり、原料にもどしたりして、ふたたび使えるようにすることもできます。ごみをへらすことになるだけでなく、大切なしげんを節約することにもつながります。

↑ p.62

ことば

文化ざい 地いきには、人々が大切に伝えてきた文化ざいが残されています。その中には、国、県、市などがしっかりとほぞんしていくことを決めたものもあります。

↑ p.99

3 学習の技能や方法を示した「まなび方コーナー」

「まなび方コーナー」を随所に掲載し、学習場面に応じた学び方を具体的に示しています。系統的に学習技能を身に付けることもできます。

まなび方コーナー

しゅくしゃくを使って地図を読み取る
県庁所在地とまちのきよりを調べる

地図には、実際のきよりをどれだけちぢめたかを表す「しゅくしゃく」がめされています。地図に表したいはいいによってしゅくしゃくが変わります。

●国の地図を見て、1cmが何kmをしめしているかかくにんする。

●自分が住むまちから、県庁所在地(仙台市)までのきよりをはかってみよう。

➡ p.25

しゅくしゃくを使って地図を読み取る

まなび方コーナー

インターネットを活用する
仙台市の国際交流について調べる

●市のウェブサイトの、サイト内けんさくを使うと調べやすい。

●調べたいことをもとに、けんさくの言葉を考える。例えば、「国際交流」「外国人住民数」など。

●目的に合いそうなサイトを選んでアクセスする。

↑ p.141

インターネットを活用する

まなび方コーナー

社会科の学習のために大切な、「まなび方」をしょうかいするコーナーです。

見る・聞く・ふれる

地図帳を使ってみよう……8
インタビューのポイント……106
現地を見て歩く……113
インターネットを活用する……141

読み取る

地勢図を読み取る……21
土地利用図を読み取る……23
しゅくしゃくを使って地図を読み取る……25
表を読み取る……55
等高線を読み取る……114

表す・伝える

しょうかいパンフレットをつくる……31
図にまとめる……46
ノートにまとめる……87
マイ・タイムラインをつくる……88
表に整理する……105
調べたことを紙しきいまとまとめる……122
要点を伝える……139

まなび方についても、しっかりとくんにしていこうね。



↑ p.3 「まなび方コーナー」一覧

観点別特色の一覧

教育基本法の遵守	・教育基本法第2条に示された教育の目標を、小学校社会科の学習を通して達成できるよう教科書紙面が構成されています。全体 ・第2号については、実際の人に取材した「〇〇さんの話」で様々な職業や社会的活動の意義や価値、携わる人の想いや願いについて記述し、共感的な理解を促すようにしました。 ・第3号については、「いかす」の学習段階で自分たちにできることや、他者に発信する活動を位置付け、社会参画の基礎を培うことができるようにしました。
学習指導要領の教科の目標との関連（全体）	・小学校学習指導要領（社会科）に示された目標に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元を適切に構成・配列しました。全体 ・「見方・考え方」の囲みを設け、「見方・考え方を働かせて」学習が進められるようにしました。全体 ・小单元ごとに学習問題を設けて紙面を展開しており、「課題を追究したり解決したりする活動」ができるようにしています。全体 ・様々な仕事や活動を通じ、実社会に参画する人の話を「〇〇さんの話」で提示して、その想いや願いを共感的に理解できるようにするとともに、将来にわたってよりよい社会の形成に参画・貢献する資質や能力の基礎を育成するようにしました。全体
資質・能力への対応	・「資質・能力」の育成すべき三つの柱をふまえて、教科書紙面を構成しています。 ・（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」）⇒以下別掲 ・（「学びに向かう力、人間性等」）「残したいもの 伝えたいもの」の小单元では、県内の伝統・文化を学ぶことで地域のよさに気づき、地域社会に対する誇りと愛情をもつことができるようにしました。また、「特色ある地いきと人々の暮らし」の「いかす」場面では、県内の特色ある地域のよさを発信することで、地域社会の一員としての自覚をもつことができるようにしました。
社会的な見方・考え方	・見開きの適所に、ドラえもんが目印の「見方・考え方」の囲みを提示しました。 ・「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法（考え方）で挿絵を変え、どのような視点や方法を働かせればよいかが明確にわかるようにしています。 ・巻末に特設ページ（「4年生で学んだことをふり返ろう」）を設け、学習した内容と学びの「方法」を振り返ることができるようにしました。
基礎的・基本的な知識、技能の定着への配慮	・学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てるようにしました。（p.21「地形」、p.62「リサイクル」、p.99「文化ざい」、p.149p.156「景観」など） ・巻末に、学習事項の確認に用いることができる「さくいん」を設けました。p.168 ・随所に「まなび方コーナー」を設け、学習技能を系統的に習得できるようにしました。（p.25「しゅくしゃくを使って地図を読み取る」、p.88「マイ・タイムラインをつくる」、p.141「インターネットを活用する」など）
思考力・判断力・表現力	・「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を重視し、習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしました。 ・「いかす」場面では、ごみを減らすために自分たちにできることを話し合ったり、自然災害にそなえて事前に自分たちにできることを考えたりする活動を提示しました。
学習方法・授業展開への配慮	・「主体的・対話的で深い学び」につながる学習活動を「まなびのポイント」で例示し、地域の実態を生かした学習指導に応用転移できるようにしました。（p.56p.60p.66など） ・話し合いの場面を重視し、適所でイラストで示したほか、まとめる場面では学習してきたことを振り返ったうえで学習問題を解決する過程をわかりやすく示し、深い学びにつながるようにしました。（p.104-105など） ・第4学年で学習した内容や学習方法を振り返ることができるよう、巻末に特設ページ（p.166-167「4年生で学んだことをふり返ろう」）を設けました。
問題解決的な学習の充実	・単元の「めあて」、小单元の「学習問題」、本時の「めあて」を構造的に紙面に明示するとともに、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階（つかむ、調べる、まとめる、いかす）を目立つ形で示し、問題解決的な学習の展開を促しました。（第2单元 1「水はどこから」p.33単元の「めあて」p.34～「つかむ」p.38～「調べる」p.46「まとめる」p.48「いかす」）
地図帳の活用	・第1单元「わたしたちの県」のオリエンテーションで、地図帳の活用を明示しました。p.6-7 ・また、まなび方コーナー「地図帳を使ってみよう」を設けました。p.8-9 ・「県の広がり」の「つかむ」段階で、地図帳を活用することを明示しました。p.16-17
今日的な課題に関する内容	・学年の学習内容に応じて、今日的な課題について積極的に取り上げるようにしました。 ⇒防災…p.72-93「自然災害からくらしを守る」、環境…p.48-49「大切な水のために」、エネルギー…p.50-53「くらしをささえる電気」、「くらしをささえるガス」など

他教科との関連	他教科の学習内容と関連する箇所は、「教科関連マーク」と学習内容を関連するページの欄外に示し、関連を図ることができるようにしました。 p.47 理科「水の性質」 p.121 算数「面積の単位」 p.142 外国語「世界のさまざまな国と国旗」 など
人権への配慮	- 共生の取り組みを進めている自治体を取り上げたほか、大型イラスト中の点字ブロックの扱いなど、基本的人権を尊重する知識と態度が身につくようにしました。 - キャラクターやイラストに描かれる人物などは、性別による偏りがないようにし、多様な人物を掲載しました。
印刷・造本の工夫 (親しみやすさ、使いやすさなど)	- 資料性、視覚的効果が高く、かつランドセルや机、道具箱への収納にも十分配慮した幅広の判型を用い、見やすく印象的で、資料提示効果の高い紙面構成に努めました。 - 軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用し、挿絵、写真等の印刷は鮮明で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、確実な資料の読み取りができるようにしました。
印刷・製本の配慮	環境に配慮し、再生紙、植物油インキで印刷しています。長期の使用や持ち運びに耐えるよう、表紙には汚れにくく、防水効果、強度の高い加工（PP加工）を施すとともに、堅牢な針金綴じで製本しました。
書体・大きさ	筆写の文字に近く読みやすい専用教科書体と、視覚にうったえるゴシック体の文字をバランスよく使い分けるとともに、児童の発達段階に配慮した適切な大きさの文字を用いました。また、読みやすさを追究し、適所にユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を用いました。
表記・表現	国語科との関連や児童の発達に十分配慮し、当該学年以上の配当漢字にはふりがなを付しました。また、一文を短く、全体の文章量が過多にならないよう簡潔な文章表現に努める一方、必要な場面では、学習内容を確実に理解させるための丁寧な文章表現を用いました。
特別支援教育にかかわる適切な配慮	- 色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて専門家による検証を行っています。 - だれも見やすく、わかりやすい落ち着いたレイアウトに努め、図表などは、色調だけでなく、必要に応じて模様や形により識別できるようにしました。 「拡大教科書」および「学習者用デジタル教科書」を発行予定です。

2. 対照表

配当時間数計：90

単元名・小単元名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間数
1 わたしたちの県	(1) 都道府県の様子		p.6-31	11
○日本地図を広げて	「都道府県の様子」	(1) ア - (ア) (イ) - (イ)	p.10-15	2
1 県の広がり	「都道府県の様子」	(1) ア - (ア) (イ) - (イ)	p.16-31	8
2 住みよいくらしをつくる	(2) 人々の健康や生活環境を支える事業		p.32-71	24
1 水はどこから	「飲料水を供給する事業」	(2) ア - (ア) (ウ) - (ウ)	p.34-49	11
2 ごみのしよりと利用	「廃棄物を処理する事業」	(2) ア - (イ) (ウ) - (イ)	p.54-69	12
3 自然災害からくらしを守る	(3) 自然災害から人々を守る活動		p.72-93	10
1 風水害からくらしを守る	「自然災害から人々を守る活動」	(3) ア - (ア) (イ) - (イ)	p.74-89	9
4 きょう土の伝統・文化と先人たち	(4) 県内の伝統や文化、先人の働き		p.94-129	22
1 残したいもの 伝えたいもの	「県内の伝統や文化」	(4) ア - (ア) (ウ) - (ウ)	p.96-107	9
2 谷に囲まれた台地に水を引く	「先人の働き」	(4) ア - (イ) (ウ) - (イ)	p.108-123	12
5 特色ある地いきと人々のくらし	(5) 県内の特色ある地域の様子		p.130-165	23
1 こけしをつくるまち・蔵王町	「地場産業」	(5) ア - (ア) (イ) - (イ)	p.132-139	7
2 国際交流に取り組むまち・仙台市	「国際交流」	(5) ア - (ア) (イ) - (イ)	p.140-147	7
3 美しい景観を生かすまち・松島町	「自然環境」	(5) ア - (ア) (イ) - (イ)	p.148-155	(7)
3 古いまちなみを生かすまち・登米市登米町	「伝統的な文化」	(5) ア - (ア) (イ) - (イ)	p.156-163	(7)

選択